

西暦 2025 年 3 月 12 日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究課題名	正期産児の胎便閉塞性疾患の臨床像の検討
研究代表者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 銭谷昌弘・小児外科
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	2000 年 2 月から 2025 年 1 月に当院でガストログラフィン胃内投与・注腸・手術加療のいずれかを施行した胎便閉塞性疾患を有する正期産児
研究期間	研究実施許可後～2025 年 12 月 31 日
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	胎便関連性腸閉塞は主に出生体重 1500g 未満の極・超低出生体重児に見られる胎便排泄遅延と腹部膨満を特徴とする機能的腸閉塞ですが、正期産児の胎便関連性腸閉塞の報告は極めて少なく、その頻度や臨床像は依然不明な点が多いとされています。また、嚢胞性線維症は日本では極めて稀な疾患であり、その約 1/3 の症例で胎便が詰まることによる腸閉塞を合併するとされています。本研究では、当院で経験した正期産児の胎便関連性腸閉塞と嚢胞性線維症による胎便性腸閉塞の周産期情報と治療経過を調査し、それらの臨床像の特徴を検討します。
研究に用いられる試料・情報の項目や種類	診療録より、周産期の情報と胎便閉塞性疾患に対する治療経過のデータを抽出します。
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者(等)が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の間合せ先までご連絡ください。
個人情報の開示に係る手続き	本研究の研究対象者(等)から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の間合せ先までご連絡下さい。
照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 小児外科 銭谷昌弘 電話 0725-56-1220 (代表)